エントリー＆逃げ決済ルール_20170513

＜エントリールール１：ファーストストライク＞

下記がすべて成立した時にエントリーする。

①「4 時間足以上で効いている S/R」での反転またはブレイクであること。

②1 時間足または 15 分足の MACD がエントリー方向に GC/DC していること。

③S/R で反転／ブレイクし、さらにファーストストライク（**※p3 の図を参照**）が発生した後に、

④直近の高値／安値をエントリー方向にブレイク、または 1 時間足／4 時間足で PB/EB の高安値をブレイク。

（※）PB／EB の前のローソク足は、S/R から離れているのが望ましいが、エントリー方向に抜けていれば離れていなくても良い。

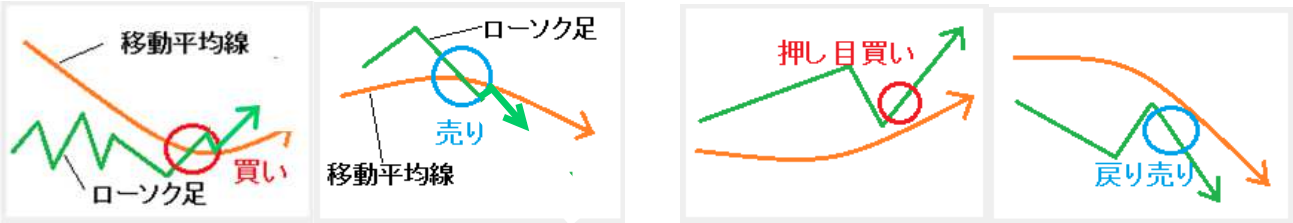
＜エントリールール２：S/R での反転／ブレイク＋グランビルの法則（MA 線でのブレイク／反転）＞

S/R での反転／ブレイクと、4 時間足の 20MA か 10MA 付近で下図どれかの形が同時に成立した時（※）。

（※）①MA 線ブレイクの場合：MA に対してルール 1 が成立。

②反転の場合：MA に対してルール 1 が成立、または 1 時間足／4 時間足で PB/EB の高安値ブレイク。

①MA 線をブレイク　　②MA 線で反転



＜エントリールール３：S/R での反転／ブレイク＋RB（リバーベンド）＞

S/R での反転／ブレイクし、さらに 4 時間足／1 時間足の 20MA/10MA を跨ぐ RB 出現後に下記が成立した時。

・ RB 自体が EB の場合は、RB の高安値ブレイク。

・ RB 後の PB/EB の高安値と RB の高安値の両方をブレイク。

＜エントリールール４：DCP＞　　※DCP＝ダブルトップ／ボトム＋ダイバージェンス＋PB／EB

下記いずれかの条件が成立した時。PB/EB を見落としやすいので注意！　4H/1H 両方見ること！

①週足／日足の S/R 付近で、4 時間足または 1 時間足で DCP の形が成立。

②日足／4 時間足の S/R 付近で、1 時間足で DCP の形が成立。

＜エントリールール５：エッセンシャル FX ルール（反転）＞

トレンドの転換点（レンジのブレイク／トレンド継続時は使用不可）で、下記いずれかの条件が成立した時。

※上位足 MACD⇒下位足 MACD の順に GC/DC した時。逆はダメ！！（騙しに遭いやすい）

①週足／日足の S/R 付近で、4 時間足または 1 時間足でエッセンシャル FX ルール（反転）が成立。

（※）4 時間足／1 時間足で MACD が GC/DC 中に、1 時間足／15 分足の MACD が GC/DC して直近高値／安値ブレイク。

②日足／4 時間足の S/R 付近で、1 時間足でエッセンシャル FX ルール（反転）が成立。

（※）1 時間足で MACD が GC/DC 中に、15 分足の MACD が GC/DC して直近高値／安値ブレイク。

＜エントリールール６：エッセンシャル FX ルール（継続）＞

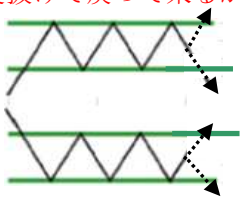
S/R での反転・ブレイク後に、レンジ／フラッグが発生し、さらにその後に下記が成立した時。

①週足／日足の S/R の場合⇒ルール 5 の①の（※）と同じ。ただし、S/R から離れていても OK。

②4 時間足の S/R の場合⇒ルール 5 の②の（※）と同じ。ただし、S/R から離れていても OK。

※ダイバージェンスの例外：「山／谷の間の高安値切下げ」もダイバージェンスと見なさないので注意。
※ルール１～３の損切は、「反対側の直近高安値（1 時間足）」（エントリー根拠の PB/EB ではない）。
★4H/1H/15M 全ての MACD が揃ってエントリー方向に GC/DC している時は、２つ先の S/R を目標レートとする。
★AUD, NZD, CAD は、原油価格と連動して反転し始めて 15 分足ダウが崩れたら逃げること。

＜フィルタ条件、適用対象ルール＞　①②以外はすべて、該当したらエントリー見送りとすること。

フィルタ条件	1	2	3	4	5	6
①直前に S/R 付近で、**4 時間足か 1 時間足**で反対方向の PB/EB が発生しており、まだダマシになってない。 ⇒その PB/EB がダマシになる場所までずらす。	○	○	○	○	○	○
②4 時間足・１時間足・15 分足のうちで、MACD がエントリー方向に GC/DC しているのが１つ以下。 ⇒2 つ以上が GC/DC して、直近の高値・安値をブレイクするか他ルールが成立する所まで待つ。	○	○	○	○	○	○
③4 時間足の MACD が反対方向に GC/DC しており、かつ、「15 分足ダウ崩れ＝S/L」となっている。⇒エントリー見送り	○	○	○	○	○	○
④**1 時間足／30 分足**でダイバージェンスが発生している／しそう。 ⇒エントリー見送り **15 分足でのみ**ダイバージェンスが発生している場合 ⇒2 つ以上のルールの条件が成立していれば OK。	○（ブレイク）	○(ブレイク)	○(ブレイク)	―	―	―
⑤1 時間足／15 分足で「戻りの無い相場」になっている。 ⇒エントリー見送り	○（ブレイク）	○(ブレイク)	○(ブレイク)	―	―	―
⑥エントリーと反対方向で窓開きが発生している。 ⇒エントリー見送り	○	○	○	○	○	○
⑦次の S/R、および直近で S/R として効いていて逆方向の傾きがある 4 時間足 20MA/10MA までの距離が、損切幅よりも小さい。 ⇒エントリー見送り。ただし、4H/1H/15M 全ての MACD が揃ってエントリー方向に GC/DC している時のみ例外。	○	○	○	○	○	○
⑧エントリー点を見逃した後、戻ってきた時 ⇒エントリー禁止。再度条件が揃うまで待つ。	○	○	○	○	○	○
⑨エントリー方向と逆向きを示すチャートパターンが出ている（15 分足以上）⇒エントリー見送り	○	○	○	○	○	○
⑩国際情勢が緊迫している時 ⇒ドル円／クロス円の買いエントリー禁止	○	○	○	○	○	○
⑪レンジ状態から S/R を最初に抜けた時（下図） ⇒反対側に一度抜けて戻って来るか、他ルール成立まで待つ。 	○	―	―	―	―	―
⑫FOMC 発表前⇒エントリー禁止 US 雇用統計発表前⇒30 分足以下のトレードはエントリー禁止 （1 時間足以上のトレードのみ可）	○	○	○	○	○	○

＜目標レート＞

ルール２以外：　エントリー点の次の S/R（4 時間足以上）

ルール２：　フィボナッチ 38.2%戻しか次の S/R（4 時間足以上）の近い方

★ただし、4H/1H/15M 全ての MACD が揃ってエントリー方向に GC/DC している時は、２つ先の S/R を目標とする。

＜損切ルール＞　損切位置は下記のとおり。当面、損切額が「資金の２％以下」となるように枚数設定する。

ルール１～３、５：　エントリー前の S/R ブレイク／反転前の直近の高値・安値の 2～3pips 先

ルール４：　エントリーに使う PB／EB の反対側高値・安値の 2～3pips 先

ルール６：　エントリー前のレンジ／フラッグの反対側高値・安値の 2～3pips 先

＜エントリー後の逃げ決済ルール（損切も含む）＞

下記の状況となった時、エントリー時のシナリオが崩れたと判断して、逃げ決済（損切含む）または S/L の建値移動を行う。逃げた後に、エントリー条件が成立した時点で再度エントリーする。

１．「4 時間足以上の S/R」にタッチした後、トレード中とは逆方向のエントリー条件が成立した時。
⇒全決済（逃げ）

２．エントリー後、次の S/R（4 時間足以上）に届く前に反転し、15 分足でエントリー方向のダウが崩れた。
⇒S/L を建値に移動する。ただし、負けトレード後・連敗後および 15 分足以上でダイバージェンスが発生している時は全決済（逃げ）。

３．S/R をエントリー方向と逆に抜け、かつ 15 分足／1 時間足でエントリー方向のダウが崩れた時。
⇒全決済（損切）

４．逆向きを示すチャートパターンが 15 分足以上で出た時⇒全決済（逃げ）

５．FOMC と US 雇用統計発表の前で、収支がプラスの時⇒全決済（逃げ）

６．1 時間足以上で反対方向の PB/EB 発生して高値／安値ブレイクし、さらに 15 分足以上で MACD が反対方向に GC/DC　⇒全決済（逃げ）